



立命館アジア太平洋大学孔子学院

院長神戸輝夫の二豊漢学講座

大分県の文化的土壌の底層には二豊（豊前、豊後）の各地で花開いた漢学が息づいています。漢学とは、特に江戸時代に学ばれた中国伝来の学問の総称です。具体的には哲学、歴史学、文学、地理学、漢方（医学）、本草学、天文学、数学、農学、書道、絵画、武術など広い分野に及んでいます。

5月からご好評いただいております二豊漢学講座の秋の講座の日程が決まりました。秋の講座は、中津藩校（進脩館）初代教授倉成龍渚についてのご紹介と、蘭医坪井信道と漢学者廣瀬旭荘の交流についてのご紹介をいたします。ぜひ、春季の講座に続き、ご来場ください。

第4回 10月31日（金）14:00～15:30

うえすぎ ようざん

くらなり りゅうしよ

米沢藩主上杉鷹山に講義した中津藩儒者倉成龍渚

第5回 11月21日（金）14:00～15:30

つばい しんどう

ひろせ きよくろう

江戸の蘭医坪井信道と廣瀬旭荘の交流

※講義時間約90分 / 開場は13:30より

講師 神戸輝夫 APU孔子学院院長



APU孔子学院院长、大分大学名誉教授

1939年京都生まれ

1964年3月 京都大学文学部史学科（東洋史学専攻）卒業

1966年3月 京都大学大学院文学研究科修士課程修了

1970年3月 同博士課程単位取得満期退学

大分大学教育学部長、放送大学大分学習センター長などを歴任。現在、APU孔子学院院长。

主な研究分野は、中国における漢族と少数民族の摩擦問題、アジア・太平洋戦争期における

日本の中国文化侵略、大友宗麟時代の中国・朝鮮・東南アジア交流史研究、シルクロード文化史研究。

会場

ホルトホール大分 302会議室

大分市金池南1丁目5番1号
JR大分駅から徒歩2分

定員

各60名（事前申込みが必要です・先着順）

資料代

お一人様1回につき 100円 （当日お支払ください）

共催 立命館アジア太平洋大学(APU)孔子学院 日本中国友好協会大分支部

後援 大分合同新聞社 NHK大分放送局

問合せ APU孔子学院事務局 Tel.0977-78-1188 <http://apu-confucius.com/>



立命館アジア太平洋大学孔子学院

院長神戸輝夫の二豊漢学講座

うえすぎ ようざん くらなり りゅうしよ
第4回 米沢藩主上杉鷹山に講義した中津藩儒者倉成龍渚

10月31日（金）14:00～15:30

ホルトホール大分 302会議室（3階）



倉成龍渚の書

中津藩校初代教授倉成龍渚（1748－1813）は江戸でも名を知られた漢学者で、書家としても有名でした。郷里の名勝耶馬溪を頼山陽に先立って紹介した人でもあります。享和二年（一八〇二）九月、奥州を回った倉成龍渚は上杉鷹山の招聘を受け米沢に入り、すでに隠居していた鷹山とのち第11代藩主となる齊定（14歳）に「論語」を講義しました。

この講義では倉成龍渚の人となりと米沢藩での講義の内容について紹介します。

つばい しんどう ひろせ きょくそう
第5回 江戸の蘭医坪井信道と廣瀬旭荘の交流

11月21日（金）14:00～15:30

ホルトホール大分 302会議室（3階）



廣瀬資料館 所蔵

廣瀬旭荘が江戸で交流した知識人は多数いますが、中でも蘭医坪井信道（1795－1848）との友好は特筆されます。坪井信道は、伊東玄朴とともに当時の江戸を代表する蘭医でした。江戸で亡くなった旭荘の妻を看取ったのは坪井信道でした。

この講義では坪井信道と廣瀬旭荘とが不思議な縁でつながっていたことや二人の交流について講義します。

※ 定員は、各回60名(申込み順)です。事前申込みが必要になりますので、ご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

※ 資料代として、各回100円が必要となります。（お支払いは当日お願いします）

お問合せ・お申込み

立命館アジア太平洋大学孔子学院事務局

Tel.0977-78-1188

Fax.0977-78-1189

E-mail.confucius@apu.ac.jp

APU孔子学院のホームページに様々な情報を更新中です。ぜひご覧ください。

URL : <http://apu-confucius.com/> または

APU孔子学院

検索